

さっぽろ^{しょう}障がい者^{しゃぶらん}プラン^{しんちよくじょうきょう}進捗状況

しょう^{しょう}障がい者^{しゃほけん}保健福祉計画^{ふくしけいかく}・障がい^{しょう}福祉計画^{ふくしけいかく}

へいせい^{へいせい}ねん^{ねん}がつちょうさ^{がつちょうさ}
(平成25年1月調査)

さっぽろし^{さっぽろし}
札幌市

もくじ 目次

1	かくぶんや とりくみじっせき 各分野における取組実績	
	ぶんや りかいそくしん 分野1 理解促進	2
	ぶんや せいかつしえん 分野2 生活支援	4
	ぶんや ほけん いりよう 分野3 保健・医療	9
	ぶんや せいかつかんきょう 分野4 生活環境	12
	ぶんや きょういく いくせい 分野5 教育・育成	14
	ぶんや こよう しゅうろう 分野6 雇用・就労	17
	ぶんや じょうほう こみゆにけーしょん 分野7 情報・コミュニケーション	19
	ぶんや すぽーつ ぶんか 分野8 スポーツ・文化	22
2	しょうがいふくし さーびす とう じっしじょうきょう 障害福祉サービス等の実施状況	23
3	さんこう 参考	28

※ さっぽろ ^{しょう}障 ^{しゃ}がい者プランに位置付けている ^{じゅうてんとりくみ}重点取組の
^{おも}主なものについて、平成23年度の実績 ^{へいせい}を ^{ねんど}記載 ^{じっせき}しております。

1 各分野における取組実績

分野1 理解促進

基本施策1 啓発・広報活動、福祉教育などの推進

障害者週間記念事業

- ・街頭PR：各区役所周辺にて、障がい者就労支援施設等で製造した計5,000個の製品を配布
 - ・あんま・マッサージ治療の無料奉仕：約100人に実施
 - ・啓発ポスターの掲示
- ※身体障害者福祉センターの改修工事に伴い、楽芸会は実施していない。

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

基本施策2 公共サービス従事者などに対する理解促進

障がい当事者の講師派遣

障がい当事者を対象として講師養成研修を実施したうえで、当該研修修了者を講師として登録し、学校や企業、各種団体が開催する研修会等の講師として派遣。

- ・講師養成・登録数 23人
- ・講師派遣回数 92回
- ・講師派遣延べ人数 115人
- ・聴講者延べ人数 4,747人

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

基本施策3 障がいのある人に対する権利擁護等に係る啓発・広報

福祉ガイド等の作成・配布、各種相談窓口の紹介

障がいのある方の自立や社会参加等を目的とし、札幌市内で実施している障がい福祉施策をまとめた「障がいのある方のための福祉ガイド」を発行し、相談支援事業所などの関係機関に郵送するとともに、各区保健福祉課や市政刊行物コーナーなどを通じて配布。

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

基本施策4 ボランティア活動・社会貢献活動の理解促進

ボランティア研修センターの運営

地域福祉に関する各種研修の実施や調査、情報提供及びボランティアに関する相談、支援などを実施。

- ・ 主な研修分野：福祉啓発研修、ボランティア研修、地域福祉研修
- ・ 年間研修数 383講座
- ・ 受講人数 14,684人
- ・ 貸室利用件数 1,145件

【保健福祉局 総務部】

分野2 生活支援

基本施策1 個々のニーズに対応した支援体制、サービス提供基盤の整備

相談支援事業の充実・関係機関の連携体制の強化

障がいのある方が地域で安心して生活することができるよう、相談支援事業の充実と、関係機関の連携による相談支援体制の強化を図る。各種事業の実施にあたっては、自立支援協議会を中心とした関係機関相互の連携体制の強化を図り、適切な支援を提供。

・障がい者相談支援事業

合計17か所。平成23年10月に1か所新設。相談支援件数43,648件、23年度末の登録者数3,885人

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

障害福祉サービスをはじめとした各種サービスの円滑な提供

「2 障害福祉サービス等の実施状況」を参照。

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

移動支援事業の拡充の検討

これまで要望が最も多かった通学への移動支援事業の利用について検討した結果、平成24年4月に、保護者が就労等で通学に付添えない世帯を対象として制度を拡充。

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

じゅうど しょう かた たい しえん ばーそなるあしすたんすじぎょう
重度の障がいのある方に対する支援（パーソナルアシスタンス事業）

じゅうどしんたいししょう しゃ ちいきいこう すいしん ちいきせいかつしえん
重度身体障がい者の地域移行の推進と地域生活支援を
もくてき さつぽろしどくじ そうせつ ゆうしょう ぼらんてい あとう
目的として、札幌市独自に創設した有償ボランティア等の
ちいき ふくしりょく かつよう かいじょせいど
地域の福祉力を活用した介助制度。

りょうしゃすう にん のべにんずう にん
・利用者数 23人（延人数 32人）

かいじょとうろくしゃすう にん
・介助登録者数 194人

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

しょう かた こうれいか しえん けんとう
障がいのある方の高齢化に対する支援の検討

ぼらんてい あとう ちいきふくしりょく かつよう いち ちいき
ボランティア等の地域福祉力の活用の一つとして、地域
まんぱわー かつよう ゆうしょう ぼらんてい あ しく づく
のマンパワーを活用した有償ボランティアの仕組み作り
けんとう へいせい ねんど ちいき さぽーともでる
を検討。（平成24年度から「地域ぬくもりサポートモデル
じぎょう じっし
事業」を実施。）

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

しょうひしゃひがいぼうしねつとわーくじぎょう
消費者被害防止ネットワーク事業

しょう しゃそうだんしえんじぎょうしょ みんせいいいんとう かんけいふくしきかん
障がい者相談支援事業所、民生委員等の関係福祉機関の
かた みまも たちば かた しょう かた こうれい かた
方（見守る立場の方）が、障がいのある方や高齢の方の
しょうひしゃひがい うたが けーす はっけん みまも たちば
消費者被害を疑うケースを発見したときに、見守る立場の
かた そうだん う つ ひつよう おう じったいちようさ じっし
方からの相談を受け付け、必要に応じて実態調査を実施。

そうだんけんすう けん
・相談件数 106件

しょう かた こうれい かた しょうひしゃひがい み ぜんぼうし
障がいのある方や高齢の方の消費者被害の未然防止を
もくてき こうしはけん きぼう だんたい しょうひせいかつすいしんいん はけん
目的に、講師派遣を希望する団体に消費生活推進員を派遣
し、出前講座を実施。

でまえこうざ けん
・出前講座 101件

みまも たちば かた たいしょう しょう かた
見守る立場の方を対象として、障がいのある方の
しょうひしゃ とらぶる じれい き ぽいんと しょうかい
消費者トラブル事例や気づきのポイントを紹介する
ばんふれつと さくせい
パンフレットを作成。

しみん きょくしみんせいかつぶ
【市民まちづくり局 市民生活部】

きほんし さく しせつにゅうしょしゃ せいしんかびょういんにゅういんかんじゃ ちいきせいかつ いこうすいしん
基本施策2 施設入所者・精神科病院入院患者の地域生活への移行推進

ぐるーぷほーむとう せいびすいしん
グループホーム等の整備推進

ぐるーぷほーむとう しんき うんえい さい しんちくせいび ひまた
グループホーム等を新規に運営する際の新築整備費又は
びひんとうこうにゅうひ いちぶ ほじょ じっし
備品等購入費の一部に補助を実施。

ぐるーぷほーむ けあほーむ せっちひほじょ かしょ
・グループホーム・ケアホーム設置費補助18か所

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

じゅうたくようはいりよしや たい じゅうきよ あんていかくほ とりくみ
住宅要配慮者に対する住居の安定確保の取組

しえいじゅうたくちゅうせんじ ゆうぐ ちんたいしえんじぎょう
市営住宅抽選時の優遇や、あんしん賃貸支援事業の
ふきゅう こうてきちんたいじゅうたく みんかんじゅうたく しじょうぜんたい
普及などにより、公的賃貸住宅と民間住宅の市場全体で
じゅうたく せーふていねっと あんぜんさく こうちく こうれい かた しょう
住宅セーフティネット（安全策）を構築し、高齢の方、障
がいのある方など住宅確保要配慮者の居住の安定確保を
めざ
目指す。

ちんたいしえんじぎょう
・あんしん賃貸支援事業

ちんたいじゅうたく けん こ
○あんしん賃貸住宅 134件（1,314戸）

きょうりよくてん けん
○協力店 264件

きょじゅうしえんだんたい だんたい
○居住支援団体 20団体

ちんたいじゅうたく たい え こ り ふ お ー む ほ じょ けん
○賃貸住宅に対するエコリフォーム補助 4件

と し きょく し が い ち せい び ぶ
【都市局市街地整備部】

きほんしざく ふくしょうぐ ふきゅうそくしん りようしえん けんきゅうかいはつしえん
基本施策3 福祉用具などの普及促進・利用支援・研究開発支援

ふくしょうぐ ふきゅう てんじ り さ い くる
福祉用具の普及（展示・リサイクルなど）

しんたい しょう かた ほ そう ぐ にちじょうせいかつようぐ
身体に障がいのある方の補装具、日常生活用具などの
ふくしょうぐ ふきゅう はか もくてき しんたいしょうがいしゃふくし
福祉用具の普及を図ることなどを目的に、身体障害者福祉
せんたー き き かん じょうせつてんじ こ ー な ー もう ふくし
センターに機器に関する常設展示コーナーを設け、福祉
ようぐ かん かくしゅそうだん おう
用具に関する各種相談に応じる。

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

ふくしさんぎょうきょうどうけんきゅうじぎょう
福祉産業共同研究事業

いりょう かいご かんご ふくしぶんや さんがくかん きょうどうけんきゅう
医療・介護・看護・福祉分野の産学官による共同研究、
けんきゅうかいはつ そくしん もくてき ほじょじぎょう だいがくとう けんきゅうしゃ
研究開発の促進を目的とした補助事業。大学等の研究者
さっぼろしない じぎょうしゃ おこな きょうどうけんきゅう たいしょう ちよくせつ
と札幌市内の事業者が行う共同研究を対象とし、直接
けんきゅう ひつよう けいひ ほじょ
研究に必要な経費を補助。

ほじょけんすう けん しんせいけんすう けん
・補助件数 5件（申請件数 8件）

けいざいきよくさんぎょうしんこうぶ
【経済局 産業振興部】

きほんしさく ちいきふくしりよく にな じんざい いくせい かくほ
基本施策4 地域福祉力を担う人材の育成・確保

ふくし さーび すていきょうじぎょうしゃ たい けんしゅう じっし
福祉サービス提供事業者に対する研修の実施

きょたく かいごじぎょうしょ さーび すていきょうせきにんしゃとう たいしょう
居宅介護事業所のサービス提供責任者等を対象に、
りようしゃ たちば た ほんにん ちゅうしん こべつ しえん けいかくさくせい
利用者の立場に立った本人中心の個別支援計画作成の
かた けんしゅう じっし
あり方について研修を実施。

ぜん かい にんさんか
・全4回 117人参加

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

ぶんや ほけん いりよう
分野3 保健・医療

きほんし さく しよう げんいん しつぺい よほうたいさく そうきはつけん そうきりよういく じゅうじつ
基本施策1 障がいの原因となる疾病の予防対策、早期発見・早期療育の充実

にゅうようじけんこうしんさ
乳幼児健康診査

- ・ 4 か月児健診 受診者数 14,611人
- ・ 1歳6か月児健診 受診者数 14,320人
- ・ 3歳児健診 受診者数 13,879人

ほけんふくしきょくほけんじょ
【保健福祉局 保健所】

こ かん いりようていきょうたいせい じゅうじつ
子どものころとからだに関する医療提供体制の充実

しょう そうきはつけん そうきりよういく じゅうふくしょう じ
障がいの早期発見、早期療育や重複障がい児への
てきせつ いりようし えんたいせい こうちく きゅうせいりょういん だい き ぽ
適切な医療支援体制を構築するため、旧 静 療 院 の大規模
かいしゅう おこな きゅうせいりょういん じ どうしんりょう セ ン タ ー はったつりょう
改修を行い、旧 静 療 院 児 童 心 療 セ ン タ ー と 発 達 医 療
セ ン タ ー の機能を統合した新医療機関を開設。

- ・ 平成23年1月 基本・実施設計着手

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくし ぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

きほんし さく しよう たい てきせつ ほけん いりようさ ー び す じゅうじつ
基本施策2 障がいに対する適切な保健・医療サービスの充実

じりつし えんいりよう ひ しきゅう
自立支援医療費の支給

- ・ 育成医療 レセプト件数 2,275件 (658人)
- ・ 更生医療 レセプト件数 34,585件 (3,098人)

ほけんふくしきょくほけんじょ
【保健福祉局 保健所】

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくし ぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

さっぽろ医療計画の推進

「市民が生涯を通して健康で安心して暮らせる社会の実現に向けた医療システムの確立」を基本理念に、誰もが地域で安心して生活していくことができるよう、以下に掲げる目標に向けた取組を実施。

【目標 1】 安心を支える医療システムの構築

【目標 2】 地域と結びついた医療の強化

【目標 3】 市民の健康力・予防力の向上

・平成24年3月 策定

保健福祉局 保健所

基本施策3 精神保健・医療の充実

せいしんかきゅうきゅういりょうたいせい せいび
精神科救急医療体制の整備

きんきゅうてき　せいしんかいりょう　ひつよう　しみん　じんそく　てきせつ
緊急的に精神科医療を必要とする市民が、迅速かつ適切
いりょう　う　じゅうそうてき　きゅうきゅういりょう
な医療を受けることができるように、重層的な救急医療
たいせい　せいび　はか　かんけいきかん　きょうぎ　かさ
体制の整備を図るため、関係機関と協議を重ねている。

- やかん きゅうじつとつ きゅうきゅうかんじやよう こうしょうかくほすう
 ・ 夜間休日等における救急患者用の空床確保数の
 ぞうか びょういんぐんりんばん たいせい か
 増加（病院群輪番の2体制化）
- い し とう たか はいち きじゅん たすう こしつ ゆう せいしんか
 ・ 医師等の高い配置基準と多数の個室を有する精神科
 きゅうきゅう がつぺいしょう にゆういんりょう さんてい びょういん たいせい
 救急（合併症）入院料算定病院を体制に
 い ち にちあんしん きょうかじゅうじつ
 位置づけ、365日安心できるような強化充実
- せいしんかきゅうきゅうじょうほう せん た き の うきょうか た いりょうそうだん
 ・ 精神科救急情報センターの機能強化（他の医療相談
 まどぐち れんけい とり あ ー じ みなお
 窓口との連携、トリアージの見直し）
 い ち じ きゅうきゅう かたけんとう
 ・ 一次救急のあり方検討

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

ぶんや せいかつかんきょう
分野4 生活環境

きほんしさく ばりあふりー もと すいしん
基本施策1 バリアフリーに基づくまちづくりの推進

やさ おも ばりあふりー すいしん
優しさと思いやりのバリアフリーの推進

さっぽろし あら しせつ せいび さい しょう かた
札幌市が新たに施設を整備する際に、障がいのある方や
こうれい かた ちから か にん め かんかく かくにん こうきょうてき
高齢の方の力を借りて、人の目や感覚で確認する「公共的
しせつ ばりあふりー ちえっく おお にん りよう しせつ
施設のバリアフリーチェック」と、多くの人が利用する施設
じ こ みぜん ふせ あんぜん しせつ きけん かしょ
の事故を未然に防ぎ、安全な施設となるように、危険な箇所
そうき はっけん きけんしせつとうつうほうし すてむ
を早期に発見するための「危険施設等通報システム」を
うんよう
運用。

- たぬきこうじ みなみ じょうなかどおりせん ほどう ばりあふりー せいび
・ 狸小路（南2・3条中通線）歩道バリアフリー整備
じぎょう ばりあふりー ちえっく じっし
事業のバリアフリーチェックを実施

ほけん ふくしきょくこうれいほけん ふくし ぶ
【保健福祉局 高齢保健福祉部】

ちかてつ あんぜんたいさく
地下鉄における安全対策

ちかてつえきほーむ かどうしきほーむ さく せっち
地下鉄駅ホームに可動式ホーム柵を設置。

へいせい ねんどまつ とうざいせんぜんえき かどうしきほーむ さく せっち ず
平成20年度末に東西線全駅に可動式ホーム柵を設置済

へいせい ねんどまつ なんぼくせんぜんえき へいせい ねんどまつ
み。平成24年度末までに南北線全駅、平成28年度末までに
とうほうせんぜんえき せっち よてい
東豊線全駅に設置する予定。

こうつうきょくこうそくでんしゃ ぶ
【交通局 高速電車部】

きほんし さく ゆきたいさく さいがい じ とう あんぜんたいさく すいしん
基本施策2 雪対策、災害時等の安全対策の推進

さっぽろしち いきぼうさいけいかく さいがい じ ようえんごしゃたいさく
札幌市地域防災計画における災害時要援護者対策

さっぽろしち いきぼうさいけいかく ひ なんじょたいさく か か じこう
札幌市地域防災計画の避難所対策に関わる事項に
 も と ひさいしゃ あんぜんかくほ ふつきゅう ふっこう む しえんたいさく
基づき、被災者の安全確保と 復旧・復興に向けた支援対策
 きよてん ひなんばしょ ひなんじょ きそてき ちょうさ
の拠点となる避難場所・避難所についての基礎的な調査を
 おこな さっぽろしひなんばしょかんきょうせいびちょうさ じっし
行うため、「札幌市避難場所環境整備調査」を実施。
 こんご ちょうさけつ かとう ふ さっぽろしひなんばしょきほんけいかく
今後、調査結果等を踏まえ、「札幌市避難場所基本計画」
 さくてい む けんとう すす
の策定に向けて検討を進める。
 き き かんりたいさくしつ き き かんりたいさくぶ
【危機管理対策室危機管理対策部】

さいがい じ ようえんごしゃひなんしえんたいさく
災害時要援護者避難支援対策

さいがい じ ようえんごしゃひなんしえん が い どら い ん およ さいがい
「災害時要援護者避難支援ガイドライン」及び「災害
 じささ は ん ど ぶ っ く うんよう
時支えあいハンドブック」の運用。
 さいがい じ ようえんごしゃひなん し く づ く かん ふきゅうけいはつかつどう
災害時要援護者避難の仕組み作りに関する普及啓発活動
 でまえこうざ おこな ぎょうせい せつきよくてき しえん
として出前講座を行うとともに、行政の積極的な支援に
 せんしんじれい そうしゅつ く ち く たいしょう
よる先進事例を創出するため、1区1地区を対象として
 も で る じぎょう じっし
モデル事業を実施。
 へいせい ねんど ぜんし さいがい じ ようえんごしゃしえん とりくみ
平成23年度からは、全市に災害時要援護者支援の取組み
 ひろ かくく ほけんふくし ぶ じぎょう うつ ちいき
を広げるため、各区保健福祉部に事業を移し、地域におけ
 とりくみ そくしん
る取組を促進。
 でまえこうざ じっし かい やく にんさんか
 ・ 出前講座の実施（17回、約620人参加）
 へいせい ねんど も で る じぎょうほうこくしょ さくせい はいふ
 ・ 平成22年度モデル事業報告書の作成・配付
 ほけんふくしきよくそうむ ぶ
【保健福祉局 総務部】

ぶんや きょういく いくせい
分野5 教育・育成

きほんし さく らい ふ す て - じ おう そうだんし えんたいせい じゅうじつ
基本施策1 ライフステージに応じた相談支援体制の充実

よう じきょういく そうだん
幼児教育相談

はったつ しんぱい よう じ こ そだ か ん よう じきょういく
発達に心配のある幼児や子育てに関して、幼児教育
せ ん た - らいしよそうだん か く く し りつ ようちえん
センターにおける来所相談のほか、各区の市立幼稚園を
かいじょう ち い ききょういく そうだん じっし
会場とした「地域教育相談」を実施。

- ・ よう じきょういく セ ン タ - らいしよそうだんけんすう けん にん
幼児教育センター来所相談件数 1,374件（902人）
- ・ ち い ききょういく そうだん けん
地域教育相談 1,038件

きょういく いんかい がっこうきょういく ぶ
【教育委員会学校教育部】

きほんし さく そうきりょういく じゅうじつ
基本施策2 早期療育の充実

し りつ ようちえん とくべつ し えんきょういく じぎょう
私立幼稚園特別支援教育事業

し りつ ようちえん し えんいん は けん じゅんかいそうだん おこな ようちえん
私立幼稚園に支援員を派遣し巡回相談を行う「幼稚園
ほうもんし えん じっし とくべつ きょういくてきし えん ひつよう
訪問支援」を実施するなど、特別な教育的支援を必要とす
る幼児の円滑な受け入れを推進。

- ・ し りつ ようちえん とくべつ し えんきょういく じぎょう
私立幼稚園特別支援教育事業
しんせいえん えん ぜん えんちゅう
申請園 108園（全134園中）
- ・ し りつ ようちえん ほうもんし えん
私立幼稚園訪問支援
ほうもんえんすう えん けん
訪問園数 123園 605件

きょういく いんかい がっこうきょういく ぶ
【教育委員会学校教育部】

基本施策3 学校教育の充実

一人一人が学び育つための教育的支援の充実

特別な教育的支援を必要とする児童生徒が、学校において、障がいの程度や特性に応じた適切な教育を受けることができるよう、「学びの手帳」の配布や、特別支援教育支援員（学びのサポーター）の活用体制を整備。

- ・ 学びの手帳配布数 1,035冊
- ・ 特別支援教育支援員活用校数 243校

【教育委員会学校教育部】

地域で学び育つための教育環境の整備

子どものニーズに応じた適切な教育が地域の学校で受けられるよう、市立小中学校への特別支援学級の設置を推進。

- ・ 特別支援学級開設数及び設置率

	開設数		設置率	
小 学 校	24校	27学級	74.3 %	(153校/206校)
中 学 校	5校	5学級	59.6 %	(59校/ 99校)
合 計	29校	32学級	69.5 %	(212校/305校)

【教育委員会学校教育部】

基本施策4 卒業後の支援

市立高等養護学校における教育の充実

市立豊明高等養護学校の教育内容を見直し、現在、同校
に設置する職業学科(産業科、木工科、工業科、家庭科、
クリーニング科)の産業科3学級のうち、1学級を流通・
サービス科へ転科し、平成25年4月から開設する予定。

【教育委員会学校教育部】

分野6 雇用・就労

基本施策1 個々のニーズに対応した就労相談支援体制の充実

就労相談支援体制の充実（障がい者就業・生活相談支援事業）

障がいのある方の雇用の促進と就労の安定を図るため、就業や日常生活の支援を行うとともに、ハローワーク等の関係機関と連携して、ジョブサポーターや支援員による雇用促進・職場定着支援を図る。

- ・委託事業所 3 か所
- ・ジョブサポーター1人配置
- ・登録者数 751 人、相談件数11,226件、就職に結びついた件数92件

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

基本施策2 雇用の場の拡大（一般就労・福祉的就労）

障がい者協働事業

障がい者を5人以上雇用し、他の従業者からサポートを受けながら共に働くことにより、事業としての収益性を確保しつつ、障がい者の継続した雇用の場となる「障がい者協働事業」の運営経費に対する補助を実施。

- ・補助対象事業所11か所 障がい者雇用数 66 人

【保健福祉局 障がい保健福祉部】

はっちゅうきかい　かくじゅう　じゅちゅうちようせいしえん
発注機会の拡充、受注調整支援

げんきじょぶあうとそーしんぐせんたー　うんえい
元気ジョブアウトソーシングセンターの運営。

じゅちゅうせいやくけんすう　けん　るいけい　けん
・ 受注成約件数　418件（累計 600 件）

じゅちゅうせいやくきんがく　せんえん　るいけい　せんえん
・ 受注成約金額　32,745千円（累計59,852千円）

ほけんふくしきょくしょう　ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

きほんしさく　ふくししせつ　いっばんしゅうろう　いこうすいしん
基本施策3 福祉施設から一般就労への移行推進

しゅうろういこうしえん　さーびす　ていきょう
就労移行支援サービスの提供

しょうがいふくし　さーびすとう　じっしじょうきょう　さんしょう
「2 障害福祉サービス等の実施状況」を参照。

ほけんふくしきょくしょう　ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

しゅうろう　む　くんれん　しゅうろうたいけん
就労に向けた訓練・就労体験

さっぽろしやくしょ　しない　とくべつしえんがっこう　せいと
札幌市役所において、市内の特別支援学校から生徒を
う　い　しよくばじっしゅう　しゅうろうたいけん　きかい　もう　しゅうろう
受け入れて、職場実習・就労体験の機会を設け、就労に
む　しえん　じっし
向けた支援を実施。

しやくしょおよ　かくく　やくしょ　にんじっしゅううけいれ
・ 市役所及び各区役所において 48人実習受入

ほけんふくしきょくしょう　ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

分野7 情報・コミュニケーション

基本施策1 情報バリアフリー化の推進

選挙における支援

札幌市議会議員選挙において、候補者を紹介した点字版の選挙のお知らせを関係世帯に配布。

札幌市長選挙において、選挙公報全文を点訳した選挙のお知らせ及び音読した音声版（カセットテープ、デージー）

の選挙のお知らせを関係世帯に配布。

投票所での各種対応（介添えを行う旨、及び点字の候補者名簿、点字器、老眼鏡、文鎮等の常備）について、全投票所に案内ポスターを掲示するなどして周知。

【選挙管理委員会事務局】

基本施策2 情報提供の充実

札幌市公式ホームページの運営管理

あらゆる人が、ホームページから容易に情報を得られるよう、札幌市公式ホームページのアクセシビリティ（使いやすさ）のさらなる向上を図る。

【市長政策室広報部】

てんじ おんせい じょうほうていきょう
点字・音声による情報提供

しかく しょう かた しせいじょうほうし こうほう
視覚に障がいのある方のために、市政情報誌「広報さ
つぽろ」の点字版「点字さつぽろ」、録音版「声のさつぽろ」
はっこう
を発行。

てんじ
・点字さつぽろ

ねんかん ぶ はっこう がつへいきん ぶ
年間4,110部発行（月平均343部）

こえ
・声のさつぽろ

て ぶばん ぜんしばん ねんかん ぶ はっこう がつへいきん ぶ
テープ版（全市版） 年間1,929部発行（月平均161部）

て ぶばん かくくばん ねんかん ぶ はっこう がつへいきん ぶ
テープ版（各区版） 年間2,184部発行（月平均182部）

ばん ねんかん ぶ はっこう がつへいきん ぶ
デージー版 年間1,314部発行（月平均109.5部）

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくし ぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

しょうがいふくし さーびす じぎょう とう かん あ じょうほう しょうかい
障害福祉サービス事業所等に関する空き情報の紹介

さつぽろしない かくしょうがいふくし さーびす じぎょうしょう じ じぎょうしょ
札幌市内の各障害福祉サービス事業所等が自事業所の
あ じょうほう けいさい ずいじこうしん ほーむぺーじ うんえい
空き情報を掲載し、随時更新できるホームページを運営。
じぎょうしょ こうしんけいはつめーる きのう かいしゅう しせつしよざいく
事業所あての更新啓発メールの機能を改修、施設所在区
こうもく ついか りようしゃ りべんせい こうじょう
の項目を追加するなど、利用者の利便性を向上させる
しすてむ かいしゅう じっし
システム改修を実施。

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくし ぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

きほんしざく こみゆにけーしょんしえんたいせい じゅうじつ
基本施策3 コミュニケーション支援体制の充実

こみゆにけーしょんしえんじぎょうとう えんかつ ていきょう
コミュニケーション支援事業等の円滑な提供

「2 しょうがいふくし さーびすとう じっしじょうきょう さんしょう
障害福祉サービス等の実施状況」を参照。

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくし ぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

ちょうかくしょう しゃ たいしょう しょうひせいかつそうだん
聴覚障がい者を対象とした消費生活相談

しゅわそうだん し す て む かつよう ちょうかくしょう しゃ しょうひせいかつ
手話相談システムを活用し、聴覚障がい者が消費生活
そうだん おとず ばあい て れ び でんわ りょう しゅわつうやくしゃ
相談に訪れた場合に、テレビ電話を利用し手話通訳者を
かい しょうひせいかつそうだん おこな
介して消費生活相談を行う。

しみん きょくしみんせいかつ ぶ
【市民まちづくり局 市民生活部】

ぶんや すぽーつ ぶんか
分野8 スポーツ・文化

きほんし さく すぽーつ ぶん かけいじゅつかつどう しょうがいがくしゅつかつどう たい し えん
基本施策1 スポーツ・文化芸術活動・生涯学習活動に対する支援

しょう しょう すぽーつ たいかい かいさい
障がい者スポーツ大会の開催

へいせい ねん がつ にち がつ にち にちかんかいさい
平成23年5月15日～6月5日の4日間開催。

しゅもく たつきゅう すいえい あーち えりー りくじょう ぼうりんぐ、
・種目：卓球、水泳、アーチェリー、陸上、ボウリング、
ふらいんぐでいすく ばすけっとぼーる
フライングディスク、バスケットボール

ほけんふくしきょくしょう ほけんふくしぶ
【保健福祉局 障がい保健福祉部】

きぞんたいいくしせつ ばりあふりーか すいしん
既存体育施設のバリアフリー化の推進

しょう かた ひろ きがる すぽーつしせつ りょう
障がいのある方が広く気軽にスポーツ施設を利用でき
るようになるため、くるま たいおう えれべーたー せっちおよ しん
車いす対応エレベーターの設置及び身
しょうしゃよう たもくてきと いれ かいしゅう じっし
障者用多目的トイレへの改修を実施。

ていねくたいいくかん おすとめいとたいおうと いれ せっち
・手稲区体育館にオストメイト対応トイレを設置

かんこうぶんかきょく すぽーつぶ
【観光文化局 スポーツ部】

しょうがいふくしきサービス等 じっしじょうきょう 2 障害福祉サービス等の実施状況

しょう ふくしけいかく すうちもくひょう じっせき (1) 障がい福祉計画における数値目標の実績

にゅうしよしせつ にゅうしよしゃ ちいきせいかつ いこう 【1-1】 入所施設の入所者の地域生活への移行

へいせい ねんど 平成23年度の もくひょう ち 目標値	へいせい ねん がつじてん しせつにゅうしよしゃ 平成17年10月時点の施設入所者 のうち、480人以上がちいきせいかつ にんいじょう 地域生活へ いこう めざ 移行することを目指す。
へいせい ねんど 平成23年度までの じっせき ち 実績値	にん いこう 471人の移行

しせつにゅうしよしゃ げんしょう 【1-2】 施設入所者数の減少

へいせい ねんど 平成23年度の もくひょう ち 目標値	へいせい ねんど まつじてん しせつにゅうしよ 平成23年度末時点の施設入所 しゃすう へいせい ねん がつじてん 者数が平成17年10月時点における にゅうしよしゃすう にん 入所者数（2,528人）から 370人 いじょうげんしょう めざ 以上減少することを目指す。
へいせい ねんど 平成23年度までの じっせき ち 実績値	しせつにゅうしよしゃすう にん 施設入所者数 2,174人 げんしょうすう にん 減少数 354人

【 2 】 入院中の精神障がい者の地域生活への移行（退院可能な入院中精神障がい者の減少）

平成23年度の 目標値	平成17年度において把握している退院可能精神障がい者全員（400人）が地域生活へ移行することをめざす。
平成23年度までの 実績値	296人の減少

【 3 】 福祉施設から一般就労への移行

平成23年度の 目標値	平成17年度における福祉施設から一般就労への移行実績の 4.5倍（100人）を目指す。
平成23年度までの 実績値	231人の移行

（2）主な障害福祉サービス等の実績（サービス利用者数）

● 訪問系サービス

	平成22年度	平成23年度
居宅介護	2,511人	2,854人
重度訪問介護	243人	254人

● にっちゅうかつどうけい さーびす
日中活動系サービス

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度
せいかつかいご 生活介護	2,633人 ^{にん}	3,537人 ^{にん}
しゅうろういこうしえん 就労移行支援	354人 ^{にん}	417人 ^{にん}
しゅうろうけいぞくしえん がた 就労継続支援A型	700人 ^{にん}	885人 ^{にん}
しゅうろうけいぞくしえん がた 就労継続支援B型	2,083人 ^{にん}	2,506人 ^{にん}

● きょじゅうけい さーびす
居住系サービス

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度
きょうどうせいかつかいご 共同生活介護		
きょうどうせいかつえんじょ 共同生活援助	1,541人 ^{にん}	1,794人 ^{にん}

● そうだんし えんじぎょう
相談支援事業

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度
そうだんし えんじぎょうしよせつちすう 相談支援事業所設置数	16	17

● こみゆにけーしょん しえんじぎょう
コミュニケーション支援事業

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度
しゅわつうやくしゃはけんじぎょう 手話通訳者派遣事業		
の りようにんずう (述べ利用人数)	5,640人 ^{にん}	5,586人 ^{にん}
ようやく ひっきほうし いんはけん 要約筆記奉仕員派遣		
じぎょう の りようにんずう 事業(述べ利用人数)	871人 ^{にん}	653人 ^{にん}

おも しょうがいふくし さーび すじぎょうしよすう かくねんど がつげんざい
(3) 主な障害福祉サービス事業所数(各年度4月現在)

ほうもんけい さーび す
● 訪問系サービス

	へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度	へいせい ねんど 平成24年度
きょたくかいご 住宅介護	345	356	406
じゅうどほうもんかいご 重度訪問介護	346	352	401

にっちゅうかつどうけい さーび す
● 日中活動系サービス

		へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度	へいせい ねんど 平成24年度
せいかつかいご 生活介護	じぎょうしよすう 事業所数	55	69	103
	ていいん にん 定員(人)	1,469	2,086	3,054
しゅうろういこうしえん 就労移行支援	じぎょうしよすう 事業所数	32	29	38
	ていいん にん 定員(人)	369	356	474
しゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 がた (A型)	じぎょうしよすう 事業所数	21	33	46
	ていいん にん 定員(人)	354	689	887
しゅうろうけいぞくしえん 就労継続支援 がた (B型)	じぎょうしよすう 事業所数	90	97	134
	ていいん にん 定員(人)	1,769	1,949	2,649
じどうはったつしえん 児童発達支援	じぎょうしよすう 事業所数	—	—	149
	ていいん にん 定員(人)	—	—	1,478
たんきにゅうしょ 短期入所	じぎょうしよすう 事業所数	47	48	50
	ていいん にん 定員(人)	180+	179+	240+

※短期入所の定員の「+」は、空床対応の事業所を指す(定員の定めなし)。

きよじゅうけい さーびす
● 居 住 系 サービス

		へいせい ねんど 平成22年度	へいせい ねんど 平成23年度	へいせい ねんど 平成24年度
きょうどうせいかつえんじょ 共 同 生 活 援 助	じぎょうしよすう 事業所数	250	299	333
きょうどうせいかつかいご 共 同 生 活 介 護	ていいん にん 定員(人)	1,257	1,557	1,843
しせつにゆうしよしえん 施設入 所 支 援	じぎょうしよすう 事業所数	13	20	29
	ていいん にん 定員(人)	610	890	1,371

3 参考

● 障がい者制度改革の動向

へいせい ねん がつ 平成15年4月	しょう しゃせい いかい かく どうこう 支援費制度施行
へいせい ねん がつ 平成18年4月	しょうがいしゃじりつしえんほうしこう 障害者自立支援法施行
へいせい ねん がつ 平成19年4月	りようしゃふたん けいげん そ ち とくべつたいさく 利用者負担の軽減措置（特別対策）
へいせい ねん がつ 平成20年4月	りようしゃふたん けいげん そ ち きんきゅう そ ち 利用者負担の軽減措置（緊急措置）
へいせい ねん がつ 平成21年9月	れんりつせいけんごうい しょうがいしゃじりつしえんほう はい 連立政権合意において障害者自立支援法を廃 し し あら そうごうてき せいど 止し、新たな総合的な制度をつくるとされる
へいせい ねん がつ 平成22年4月	りようしゃふたん けいげん そ ち しみんぜいひ か ぜい 利用者負担の軽減措置（市民税非課税の ばあい りようしゃふたん むりよう 場合、利用者負担が無料）
へいせい ねん がつ 平成22年12月	しょうがいしゃじりつしえんほう いち ぶ かいせい 障害者自立支援法の一部改正
へいせい ねん がつ 平成23年8月	しょうがいしゃきほんほう いち ぶ かいせい 障害者基本法の一部改正
へいせい ねん がつ 平成24年6月	しょうがいしゃそうごうしえんほう こうふ 障害者総合支援法の公布
へいせい ねん がつ 平成24年10月	しょうがいしゃぎゃくたいぼうしほうしこう 障害者虐待防止法施行
へいせい ねん がつ 平成25年4月	しょうがいしゃそうごうしえんほう しこう 障害者総合支援法の施行

● 障害者手帳交付者数(平成24年3月末)

てちょう しゅべつ 手帳の種別	へいせい ねん がつまつ 平成23年3月末	へいせい ねん がつまつ 平成24年3月末
しんたいしょうがいしゃてちょう 身体障害者手帳	83,740人 ^{にん}	85,726人 ^{にん}
りょういくてちょう 療育手帳	12,937人 ^{にん}	13,634人 ^{にん}
せいしんしょうがいしゃほけんふくしてちょう 精神障害者保健福祉手帳	16,126人 ^{にん}	17,848人 ^{にん}